



JTB C→REXセンター様

JTB様は、自社店舗やコンビニに設置のマルチメディア端末での旅行販売に加盟店としてJ-Debitの利用を推進している他に、情報処理センターとして観光業界を中心にJ-Debitの普及活動をおこなっています。

今回は、C→REX事業推進室の杉浦さん、C→REXセンター花澤さんにお話を伺いました。

■ コンビニに設置のマルチメディア端末でのJ-Debit決済

JTBでのJ-Debitの取組みは、J-Debit第一フェーズより前の1998年9月1日。J-Debitスキームとしては京都情報システムとともに最も早く、コンビニのローソン様に設置のマルチメディア端末(Loppi)での旅行販売から始まりました。(当時約7,000ヶ所)

これは、クレジットカードの暗証番号の認知率が低いことから、マルチメディア端末の決済(暗証番号入力必須)ではJ-Debitの開発が待望されていたためです。現在は決済手段のひとつとしてすっかり定着しており、この8月よりスタートしたLoppiによる「toto」の販売にもこのノウハウが活かされています。



<マルチメディア端末Loppi>

■ JTB旅行店舗での取組み



<JTB旅行店舗>

JTB旅行店舗(300ヶ所)でのJ-Debit利用は、新POSの開発に合わせて2001年4月から始まりました。旅行代金をATMで引き出してご入金いただく方が多いなか①キャッシュカードで気軽に決済ができる。②お客様の手数料負担がない。③安全性が高い。等と好評で、利用も前年比150%~200%で伸びています。

社内でも、クレジットに比べ手数料が低くなることからキャンペーンを実施し、普及に努められています。

■ C→REX (情報処理センター)

C→REXは、JTBと関係の深い観光業界でのJ-Debit普及を目的に発足した通信・決済情報処理センターです。加盟店は全国の観光地を中心として旅館・ホテル、お土産店、飲食店、観光施設、旅行会社等約20,000ヶ所。すべてC→REX端末(有線、無線)が設置されています。

■ サービスマーク

C→REX加盟店にお渡しするキット。加盟店プレートやシールはオリジナルデザインのものを作成。

■ C→REXのフォーメーション

「C→REX事業推進室」を中心にコールセンター、精算センターである「C→REXセンター」、「コンピューターセンター」、端末の設置、メンテナンスをおこなう「C→REXテクニカルサポート」、及び全国の「営業個所」で運営しています。



<加盟店向けキット>